しんせい42号
平成31年3月1日発行
社会福祉法人　真盛園
大津市坂本5丁目13-1
TEL：578-0044
FAX：579-3839
HP: https://www.sinseien.jp

しんせい

真盛園運営方針

1、人間平等の原則の上に立っての福祉の増進
2、宗教的雰囲気の中での心の安らぎ
3、恵まれた自然環境の下での健康維持

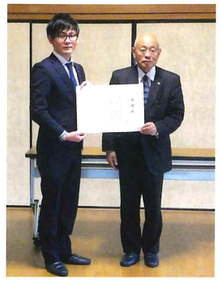
福祉車輌を寄贈していただきました

この度、公益財団法人河本文教福祉振興会様（理事長日高勇氏）より福祉車輌1台（トヨタレジアスエース10人乗）を寄贈していただきました。

2月28日午前11時より真盛園禅明坊会議室に於いて㈱アヤハディオ草津店オートセンターフロア長、西堀亮氏。㈱エフシステム常務取締役、大槻俊和氏を初め関係者ご出席のもと贈呈、納車式を致しました。当法人より河本文教福祉振興会様へ感謝状と花束を贈呈、感謝のお礼の言葉を述べさせていただきました。

真盛園の利用者の皆さまの送迎等に利用させていただき、河本文教福祉振興会様のこころを汲みながら安心・安全な福祉事業に貢献して行きたいと思います。因みに河本文教福祉振興会様は1980年（昭和55年）故河本嘉久蔵先生（綾羽株式会社創業者。元参議院議員国土庁長官等歴任）が滋賀県内の青少年の健全、学校教育、社会教育の教育行政の推進、文化、福祉振興活動に寄与する目的で発意され篤志によって設立されました。その後、綾羽株式会社社長、河本英典先生（元参議院議員）が父の遺志を継承、私財を寄贈されています。私も河本嘉久蔵先生が国会議員の時に大変お世話になりました。一番印象に残っているのは国務大臣（国土庁長官）の時に、初めて大臣室に入れていただき一緒に写真と食事をいただいた事、そして河本英典先生には今も時々色々な会合の席でお出会いし、ご挨拶をいただいております。

ある日の河本嘉久蔵先生と前阪園長（大臣室にて）



常務理事兼総合園長　前阪良憲

敬老祝賀会

平成30年10月18日敬老祝賀会が行われました。

真盛園ではめでたく4名の方々が100歳の白寿を、13名の方々が88歳の米寿を迎えられました。

祝賀会第1部では前阪園長よりおひとりおひとりにお祝いの言葉と記念品の贈呈があり、みなさま素敵な笑顔をみせておられました。続いて利用者様の代表の方より謝辞があり緊張しながらもしっかりと大役を務められました。

第2部では毎年恒例の新人職員によるパフォーマンス。今年度の新人9名が歌とダンスを披露し盛り上がりました。

最後はみなさんで懐かしい唱歌と締めくくりに「琵琶湖周航の歌」を歌い楽しい時間はあっという間に過ぎていきました。

《平成30年度各種表彰者》

左記の法人役員及び職員の方々が表彰されました。

■社会福祉事業功労者厚生労働大臣表彰
受賞者　前阪　良憲（総合園長）

■全国社会福祉協議会会長表彰
受賞者　前阪　良憲（総合園長）

■社会福祉功労者知事表彰
受賞者　中川　杏子（介護士）

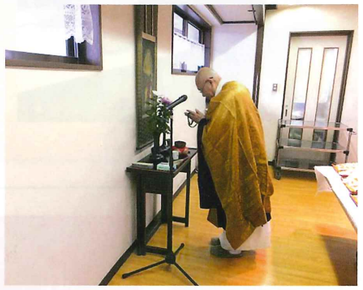
■滋賀県社会福祉協議会会長表彰
受賞者　辻　喜美子（真盛園監事）
田中ゆかり（看護師）
村林　尚子（介護士）
八木さおり（ケアマネジャー）
夏原　一永（介護士）
磯貝　要介（介護士）

■大津市社会福祉協議会会長表彰
受賞者　石川富士男（真盛園評議員）
兼田　恭子（事務職）
清水　智子（介護士）
西村祐三子（ケアマネジャー）

■滋賀県老人福祉施設協議会会長表彰
受賞者　川中　浩（介護士）

（敬称略）

節分豆まき



平成31年2月3日（日）、毎年恒例の節分豆まきが行われました。この日の食事は恵方巻き、鰯が出され利用者さんは美味しそうに食べておられました。

食事の後、前阪園長に御祈祷していただき、豆まきの開始です!!2匹の鬼に「鬼は外～、福は内～」と勢いよく園長が豆をまかれ、邪気を払い福を呼び込んでおられました。豆まきをして1年の無病息災を願いました。

皆さん今年も安心して1年をお過ごし下さい。

編後記

平成の年号も後2ヶ月程となりました。

30年を振り返り、人それぞれ色々な想いを持っていることと思われます。今や日本は少子高齢化時代を迎え、人口減少の続く中、将来を案じずにいられません。今こそ政治の力が必要ではないでしょうか。未来ある国づくりの議論をして欲しい。最近の国会の状況を見てみると、厚生労働省の勤労統計の不正問題での追及国会、大臣が予算委員会に5分遅れた事によって野党議員が退出。その日の委員会が空転、結局1日審議せず次の日に持ち越し。それによる人件費、光熱水費、諸経費の無駄使い。議員は国民の税金を何と思っているのだろうか。

毎日マスコミ報道は両親による子どもの虐待事件、老老介護、介護疲れ、貧困、少子高齢化時代の悲惨な事件等、政治の力で解決できる社会問題がたくさんあります。人生100年時代到来。命の大切さの議論をして欲しいものであります。もっと子ども、障碍者、高齢者の幸せを考えて欲しいと思います。日本は戦後73年間、戦争のない平和な国を維持してきました。最近は自然災害等で尊い命を失っています。強靱な国づくりと安心・安全な社会になるよう希望しています。また愚痴を書きましたがお許し下さい。でも日本は豊かで平和な国です。2月9日より14日までフィリピン戦跡巡拝に行ってきました。あの悲惨な戦争遺族の皆さまの呼びかけに涙が出ました。4月1日に発表される新元号はどのような元号でしょう。今から楽しみであります。

前阪　良憲　記

B班

12月10日 年忘れ会

今年のB班の年忘れ会は、昼食にお鍋、そして午後からはその年に撮った写真のスライドショーを利用者様と観覧し振り返りました。その後おやつにケーキバイキングをしました。

昼食のお鍋では、真盛園自慢の調理員が腕を振るって作ってくれました。お鍋ということもあって、利用者様にはいつもと違うメンバーでお鍋を囲んで頂きました。普段と違う雰囲気の中で熱々のお鍋を召し上がられていました。いつもより沢山召し上がられた方や、マイペースで召し上がられる方など様々でしたが、ほとんどの方が美味しい、また違う鍋もして欲しいという声があり、満足されていたと感じます。

午後からは、写真のスライドショーです。沢山の写真があったのですが、選び抜いた約250枚の写真をスクリーンに映し出し観覧しました。なかなか視力の良い方ばかりではないので見にくかった方も居られたと思いますが、自分の写真が出てくると「あ、私やな」「これあんたやで」と声が上がっていました。今年1年の活動を振り返ってもらい良い機会が持てたと思います。

その後のケーキバイキングでは、3種類のケーキから好きな物を選んで頂きました。みなさん、お鍋を沢山召し上がられたのにどこにケーキが入るのだろうと思いましたが、甘い物には目が無いのでしょうか、選んだケーキをペロリと召し上がられている方が多かったです。

また今年はどんな年忘れ会になるかわかりませんが、実施したいと思います。

C班

2月14日 バレンタインデー

2月14日、皆で手作りのおぜんざいを作る事になりました！女性を中心に進めて頂き、途中でつまみ食いをしてしまわれる利用者さんも。ハプニングもありましたが、少し和んで過ごしました。

また、仕上がるまでに話しした内容に、バレンタインデーと聞いてしっくりくる方も居れば、娘がしていたと教えて下さる方も。思いも様々な様子でした。

おやつの時間にて、おぜんざいも早々に完食されました。その時の利用者さんの表情は何とも嬉しそうに、言葉は無くとも美味しいと言っている時の顔でした。皆で作った甲斐のあるおぜんざいになりました。

養護1泊旅行

平成30年11月、秋晴れの空のもと養護老人ホームでは雄琴温泉への1泊旅行に行ってまいりました。

旅館に到着するとさっそく楽しみにしていた温泉に入って日頃の疲れを癒します。泳げるほどの広いお風呂に大興奮で喜ばれる方もいらっしゃいました。そして温泉のあとはお待ちかねの宴会です。ずらりと並んだ目にも美しいお料理の数々。ふだんはたくさん召し上がらない方々もお腹いっぱいです。

そしていよいよクライマックス‼まず男性職員による迫力のダンス、続いて女性職員によるフラダンス。楽しい雰囲気にみなさんも踊り出され思い出に残る旅行になりました。

フリースペース　しんせい

～安心して過ごせる地域の子どものための居場所～

フリースペースとは、家庭が安らぎの場でなかったり、大人に甘えることができなかったりする状況がある子どもたちに、地域の資源や人がチームとなり、ひとりの子どもの思いに寄り添うための事業です。

10月からスタートしたフリースペースしんせいは、夜の子どもの居場所づくりとして毎週火曜日の17：30に子どもを迎えに行き、夕食を一緒に食べたり、ゲームをしたり、20：00に自宅に送ります。

真盛園の職員が管理者となって、大津市社会協議会やボランティアが関わっています。大人との関わりの中で成長していく子どもの様子を、多様な主体で見守っていきたいと思います。

おせち料理

2019年元旦。昼食にはおせちとお雑煮を提供させていただいています。

定番の黒豆、栗きんとん、紅白なます、かずのこ、伊達巻きから海老や里芋の炊き合わせ、穴子巻き等17品目を詰め合わせてあります。年に1度のこともあって大変喜ばれておられます。年末から準備にとりかかり、元旦に詰めていくのは大変な作業ですが、少しでも正月気分を味わっていただきたいとの思いを込めております。

また、今年も利用者様のご健康とご長寿を職員一同願っている次第であります。

毎年恒例のお餅つき

年の瀬も押し迫った12月27日、今年最後の行事のお餅つきが行われました。行事委員が中心となり各部署をまわって、臼と杵を使用して、杵でつける利用者さんを交えて、餅つきを行いました。

周りで見つめる利用者さんも「よいしょー」と掛け声を出して、大いに盛り上がりました。お餅をつかれた利用者さんも力強くつかれておられました。

出来上がったお餅は、こねて、丸めて、利用者さんにあんころ餅、きなこ餅にして昼食にふるまわれました。みなさん「おいしいわー」と言われ、おかわりをしている利用者さんもおられました。

皆さんおいしそうに召し上がられ、無事に大きな事故もなく、年の瀬の気分を満喫されていました。来る平成31年、猪年も、良いお年でありますように。